

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調査費

事業名 博物館環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部県民文化局 博物館 総務部管理調整係 電話番号：0575-28-3111(内250)

E-mail：c21804@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 251,973 千円 (前年度予算額： 5,615 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	5,615	0	0	0	0	0	0	5,000	615
要求額	251,973	0	0	0	0	0	0	0	251,973
決定額	10,699	0	0	0	0	0	0	9,500	1,199

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨（現状と課題）

長寿命化計画に基づき計画的に事業を実施

・LED化

省エネ性能が高いため二酸化炭素排出量削減の一助となり、また、消費寿命が長いこと、普及が加速している。蛍光灯器具の製造中止が打ち出されつつある。そのため、博物館に設置された従来の照明器具からLED照明器具への更新を計画的に行う。

・屋上防水・エレベーター設置工事

県有施設中長期保全計画に基づき、マイ・ミュージアム棟の屋上及びエレベーターの更新に係る設計委託及び工事

・非常用電源

非常用電源設備経年劣化に伴う更新

(2) 事業内容

LED

マイミュージアム棟全体の照明をLED化する。

屋上防水・エレベーター設置工事

令和5年度に設計委託、令和6年度に工事

非常用電源

非常用発電設備等設置に係る設計委託及び工事

(3) 県負担・補助率の考え方

県単独事業として実施

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	226,380	設備設置工事
委託料	25,593	設備設置工事設計業務委託
合計	251,973	

決定額の考え方

非常用電源工事については、他施設も含めた全体の金額や優先順位を考慮して先送りすることとし、計上を見送ります。
財源については、県債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

長寿命化計画を策定し、計画的にLED設置

(2) 国・他県の状況

施設の老朽化対策は全国的な懸案事項となっており、地方公共団体は令和2年度までに個別施設ごとの長寿命化計画を策定することとなっている

(3) 後年度の財政負担

単年度事業

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

LED化

二酸化炭素排出量及び光熱費の削減を目指す。

屋上防水・エレベーター設置工事

県有施設中長期保全計画に基づき R 5 設計委託、R 6 工事を実施

非常用発電機

停電時においても収蔵品の温湿度管理を図り、よりよい環境を整備する

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H29)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R9)	達成率
H30年度～R9年度 までの10年計画	0	30	40	50	100	30%
R5年度～R6年度ま での2年計画	(R4) 0	0	0	50	(R6) 100	0%
R5年度の単年計画	(R4) 0	0	0	0	(R5) 100	30%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・照明を蛍光灯からLED照明に取替えることで、消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないことから、展示室の展示品を熱から保護することができた。</p> <p>指標① 目標：100 実績：20 達成率：20 %</p>
令和 3 年度	<p>・前年度に引き続き、照明を蛍光灯からLED照明に取替えることで、消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないことから、展示室の展示品を熱から保護することができた。</p> <p>指標① 目標：100 実績：30 達成率：30 %</p>
令和 4 年度	<p style="color: red;">令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない	
(評価) 3	二酸化炭素排出量の削減、消費寿命の長期化、省電力によるコスト削減を図るため、事業の必要性は高い。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない	
(評価) 3	消費寿命の長期化と省電力によるコスト削減を図ることができた。また、LED照明は照射光による被照射物への熱の影響が少ないことから、展示室の展示品を熱から保護することができ、事業の有効性は高い。
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている	
(評価) 2	長寿命計画を策定し、平成30年度から令和9年度までの10年計画で計画的にLED照明に取替える予定をしておき、事業の効率性は高い。

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 LED照明の急速な普及に対応し、館内の照明を順次LED化していく。

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 来館者の安全・安心の確保を目的とした設備環境の整備に努める。 来館者の方に影響のある箇所から、優先的にLED化を実施していく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	